

# 中学1年

## 「生き方を探る——人と地域から、自己発見の機会」

徳井輝雄・湯澤秀文  
長岡咲子\*・寺井一

### 1. 学年テーマについて

教師側の定めたテーマとは「生き方を探る——人と地域から・自己発見の機会」であるが、生徒には「出会いから学ぼう」と説明。以下の文は、1995年4月20日、総合人間科の最初の授業が行われた日に、中学1年の担任団から生徒達に示したものである。

#### ○ 総合人間科という科目について

テーマ「出会いから学ぼう」のもとに、国語、社会といった既成の教科にとらわれずに学ぶ。出会いをきっかけにしてこれからの中学校生活での、学ぶ目標やテーマができれば良い。自学自習、発表討論などを主な授業形態とします。

#### ○ 学年テーマ「出会いから学ぼう」について

友人との出会い、ある人の伝記との出会い、面白い昆虫との出会い、人類の平和や国際交流に貢献している人との出会い、外国人との出会い、お城や古墳との出会い、戦争遺跡との出会い等の様々な人・動物・事物等の出会いから、将来の自分の生活に参考になることを学んだり目標を見つける。

#### ○ 学び方

さまざまな出会いの機会を積極的につくる。出会いのきっかけは、先生や親の話を聞いたり、書籍を読んだり、映画を見ても良い。休みにどこかへ出かけても良い。大いに見聞を広めよう！

本校での6年間の生活を始める中学1年生に対して、学習の目標を持たせることは、今後の学校生活を充実したものにするために大切なことの一つである。

上に示したように、「出会いから学ぼう」というテーマのもとで、生徒が世の中の様々な人・物・出来事等に積極的に出会い、見聞を広め、クラスメイトと議論する機会を少しでも作ることにした。この機会が、自己発見のきっかけとなり、今後の学校生活での目標をつかむ助けとできれば良いと、中1担任団4人は願っている。

### 2. 学習方法と指導体制について

総合人間科の目指す「自分の人生を自覚的に選択してゆく力」を育てるためには、自己を見つめ、自己を発見し、さらには自己を拡大して行く体験が重要と考えられる。このような体験の場を積み重ねて行くにあたり、中学1年担任団では、導入及び目的達成しやすさや活動意欲の持続性等の点から、生徒各自の興味・関心をその原動力の中心とするのがよいと考えた。また、生徒各自の自己発見と併せて、今後6年間過ごす仲間としての集団づくりも不可欠な目標と考えた。これらを考慮し、授業形態は主に

- ① 個人での調査・考察
- ② 小グループでの意見交換・討論
- ③ 学級・学年での発表・意見交換
- ④ 個人でのまとめ

というサイクルで進めて行った。また、学習体験の対象の見つけ方も、1学期は教師が与え、夏休みは自由研究という形で生徒各自が見つけ、2学期はグループに分かれて対象を決める、というようにこれも「個」と「集団」の両方を意識して進めて行った。

例えば、1学期における学習体験の対象は、本校の行事の「憲法講演会」「私には夢がある～リンカーンとキングから～」小中陽太郎氏)、及び、4人の担任団がそれぞれ提示したビデオによる、独創的な人生を送った人たちの生き方の紹介である（「木を植えた男」、「戦争の中の中学生」、映画「学校」）。これらは全て「与えられた体験」であるが、それは最初から生徒に各自のテーマをゼロから見つけさせるのではなく、まずは教師側から例を示して、1年間の導入とすることが目的である。また、それぞれのテーマについて考察を進めるにあたり、その話の中に出てきたどの人物にスポットを当てるかを各自の自由とすることによって、各自の興味・関心を少しでも生かし、自己発見につながることを期待した。それと同時に、仲間が自分とは違う人物にスポットをあて、自分とは違う感じ方をしていることを知る機会ともなり、間接的に自己発見につながるものと考えている。授業の進め方

\*1996.4.1より名古屋市立滝水中学に勤務

は、上記の①②④の順に展開し、まず、①各自で特定の登場人物について調べたり、感想をまとめ、②その調査結果・感想・意見を20人のグループ（クラスの半分）で発表して意見交換し、④仲間の感想や意見を聞いて思ったことを書き留める、というように進めた。担任団の指導体制は、各テーマの最初にビデオを観て導入し、感想等をまとめるところまでは、クラス毎に正副担任のティーム・ティーチングで行い、それを発表し、意見交換し、まとめるところは、クラスを20人ずつの2グループに分けて行なった。

夏休みには、いよいよ生徒が自分でテーマを見つける自由研究を課し、自分の興味・関心の掘り起こし、気付きに期待した。また、研究をまとめる上でのポイントを示し、その後の授業でのまとめ方の基礎づくりとした。

本校では中学1年の12月に、「野外学習」という行事を実施している。これは学校の中から地域に飛び出し、いろいろな職場や人物を訪ね、生きた学習をしようとするものである。昨年度まではこれは学年行事として取り組まれてきたが、今年度は、総合人間科と結合させ、より効果的に自己発見へつないで行くことを目指している。このため、これまでは教師主導になりがちであったテーマの決定を、夏休みの自由研究のテーマを類型化し、そのテーマを採用することによって、より生徒の興味・関心に即したものとし、訪問先についても生徒自身で考えるように指導した。このテーマの類型化については、最終的に8つのテーマに絞り、その中の2つずつのテーマを組合せそのグループのテーマとした。指導体制は、2クラスで80人の生徒を、20人ずつの4グループに分け、それぞれのグループに担任団の教師が1人ずつ就く指導教官制をとった。

野外学習を取り入れた2、3学期の総合人間科の授業は、事前学習、野外学習当日、個人レポートの作成、研究発表会、報告集づくりと進んだが、事前・事後の活動はいずれも、個人のまとめや考察と、小グループ（4～6人）での活動が主体となり、その活動の結果として、最後に学年全体で研究発表会を実施した。

以上のように、中学1年の総合人間科の授業は、生徒の興味・関心を原動力に、一貫して「個」と「集団」の活動を組合せながら進めてきた。また、指導体制もティーム・ティーチングや指導教官制を、活動内容に合わせて使い分けてきた。さらにこの中学1年の総合人間科では、前述のように「憲法講演会」や「野外学習」というこれまでの学年・学校行事と結びついているものも特徴の1つである。時間割りの運用については、1学期は1単位の中で実施してきたが、2学

期、及び3学期の前半は学活や道德の時間とも組み合わせることで臨機応変に活動してきた。

### 3. 指導過程

#### (1) 一学期の実践

「出会いから学ぶ」の最初の機会として、教師側からビデオ教材を提供し、さまざまな人の生きざまを考えさせた。

〈第1回〉 4月15日

A. 授業形態 学年全体（オリエンテーション）  
クラス別（アンケート）

B. 学習内容 ① 総合人間科で学ぶこと  
② アンケート（生活意識の現状調査）

〈第2回〉 5月6日

A. 授業形態 グループ別（各クラス20名4グループ、4人の教官で指導分担）

B. 学習内容 憲法講演会の感想発表と討論  
講演で心に残ったことや興味を持ったことについて調べたことと感想をまじえながら全員が発表し、意見交換を行った。

※ 憲法講演会…5月2日 於：本校 講師 小中陽太郎氏  
演題「私には夢がある リンカーンとキングから」

〈第3回〉 5月20日

〈第4回〉 6月3日

〈第5回〉 6月17日

〈第6回〉 7月1日

A. 授業形態 クラス別（各クラス2人の教官のティームティーチング）

B. 学習内容 ビデオを鑑賞し、各自が印象に残ったことや考えたことをまとめ、意見を発表しあった。

※ ビデオ「木を植えた男」  
原作者：ジャン・ジオノ  
画家：フレデリック・バック  
ビデオ「戦争の中の中学生」  
沖縄在住「宮良ユリさん」の話  
映画「学校」  
監督：山田洋次

〈第7回〉 7月15日

A. 授業内容 クラス別

B. 学習内容 ① 一学期のまとめ  
一学期に学んだことで印象に残ったことをまとめ発表しあった。  
② 夏休みの課題

夏休みに調べたい事柄や人物について考えた。

【夏休みの宿題】

生徒自ら、さまざまな人・物・出来事に会いを求め、見聞を広めさせるために、自由研究を課した。調べたことをまとめたレポートと研究要旨を提出させることにした。

(2) 二学期の実践

夏休みに調べた自由研究を全員に発表させることにより、さまざまな出会いの機会とした。また、12月に行われる野外学習のテーマを考える意識づけにしたいと考えた。

10月以降は野外学習の指導とし、自分の学習テーマ以外にも興味関心をもたせるとともに、学年の代表としての自覚を持って訪問するよう指導した。

〈第8回〉 9月16日

〈第9回〉 9月30日

- A. 授業形態 グループ別 (各クラス20名4グループ、4人の教官で指導分担)
- B. 学習内容 全員が夏休みの自由研究を発表した。  
(一人の発表時間は約10分)

◎自由研究の80のテーマを教師が8種類に類型化し、野外学習の学習テーマとして生徒に希望調査を行い、4つのグループ作りをした。グループは、話し合いや活動がしやすいように、テーマ別小グループ (各クラス毎のテーマ別グループ約10名)、テーマ別大グループ (AB組合同のテーマ別グループ約20名) と区別し、指導教官制にした。

〈第10回〉 10月7日 (10/12の道徳の時間も活用)

- A. 学年全体 (野外学習のオリエンテーション)  
    テーマ別小グループ・大グループ
- B. 学習内容 —野外学習の事前学習—
  - ① 野外学習の目的と内容
  - ② 班長を決め、テーマ・訪問先の検討

検討は、小グループ→大グループの過程を経て行った。

グループ	訪 問 先	テ ー マ
犬	中部盲導犬協会	盲導犬の訓練方法と盲導犬の特徴
環 境	名古屋市環境事業局鳴海工場	ゴミの処理方法と現状の問題点
地 歴	熱田区白鳥橋付近及び 熱田コミュニティセンター	熱田空襲・軍事工場について
戦 争	緑区有松町一帯 (竹田邸等)	有松と絞りの歴史について
文 芸	ヒマラヤ美術館	西洋絵画を鑑賞する
医 療	名古屋大学医学部附属病院分院	医療現場の実状と問題点
動 植 物	名古屋水族館	海の生き物 (海がめ・ペンギン・サメ)
科 学	名古屋气象台	気象と气象台の仕事について

〈第11回〉 10月26日（10/25の道徳の時間も活用）

- A. 授業形態 テーマ別小グループ・テーマ別大グループ
- B. 学習内容 一野外学習の事前学習—
- ① 役割分担（質問者・交通・渉外・記録等）
  - ② 各訪問先での質問事項の検討  
個人での質問事項を考え、小グループ→大グループで検討・決定

◎ 各グループの訪問先・テーマ一覧を生徒に配付し、他のグループに依頼したい質問事項を考えておくことを宿題にした。

〈第12回〉 11月2日（11/8の道徳の時間も活用）

- A. 授業形態 クラス別・テーマ別小グループ
- B. 学習内容 一野外学習の事前学習—
- ① テーマ毎に午前の訪問先・動機・テーマ・質問事項の発表・質疑
  - ② 他グループへの質問事項・アドバイスの検討  
（グループ別小グループで話し合う）
  - ③ 他グループへのアドバイス・調査依頼の発表

○11月9日学活の時間

- A. 授業内容 テーマ別大グループ
- B. 学習内容 各クラスで依頼された質問やアドバイスを発表しあい、質問事項の最終決定を行った。

〈第13回〉 11月18日（11/15・16・22の道徳・学活の時間も活用）

- A. 授業形態 テーマ別小グループ・大グループ・クラス別
- B. 学習内容 一野外学習の事前学習—  
午後の訪問先についても上記と同様の活動を行った。

○12月5日野外学習前日指導

- A. 授業形態 学年全体・テーマ別大グループ・小グループ
- B. 学習内容
- ・集合場所、時間、交通手段、交通費の確認（交通係）
  - ・質問の分担、写真の撮影箇所の確認（質問者・記録係）
  - ・持ち物、挨拶お礼の確認（班長）

※ 野外学習の事後学習として、個人レポートをまとめ、それをもとに小グループ毎で報告集を作成し、さらに人グループによる報告会を行うことを確認させた。

○12月6日野外学習実施

〈第14回〉 12月7日（12/13の道徳の時間も活用）

- A. 授業形態 テーマ別小グループ
- B. 学習内容 一野外学習の事後学習—
- ① 今後の予定の確認
  - ② 個人レポートの書き方の確認
  - ③ 質問事項の回答の確認

〈第15回〉 12月16日

個人のレポートを書く

※ テーマに対する考察やそこで働いている人々の生き方に関する感想をまとめることに留意させた。

※ 一つ目のテーマのレポート提出締切を2学期末とした。

【冬休みの宿題】

2つめの個人レポートと製本用の表紙を書いて提出させることで、個人としての野外学習を通して学んだことをまとめさせることにした。

### (3) 三学期の実践

小グループ毎に、担当するテーマを選び、研究内容のまとめの骨子を考えさせた。その骨子にそって、担当のテーマの個人レポートを読みあい、評価をし、知識や自分の考えを深めるとともに、報告集や発表内容を考える手だてとした。

○1月11日道徳の時間

- A. 授業内容 テーマ別小グループ
- B. 学習内容 研究内容の骨子を考え、評価表の点検項目とした。

〈第16回〉 1月20日（1/17・18の道徳・学活の時間も活用）

- A. 授業形態 テーマ別小グループ
- B. 学習内容 一野外学習の事後学習—
- ① 個人レポートを読み、評価する。
  - ② 評価表を参考にしながら、報告集の原稿作りと発表の準備をした。

○1月24・25日道徳・学活の時間

報告集・発表会の準備をした。

〈第17回〉 2月3日（2/7の道徳の時間も活用）

- A. 授業形態 学年全体
- B. 学習内容 一野外学習の事後学習—
- 各テーマ毎に発表をし、質疑応答した。（1グループ約10分発表）テーマ・動機・施設の概要・研究内容・考察・そこで働く人の生き方についての感想を述べるように指導した。
- ※ 報告集の原稿も提出させた。

〈第18回〉 2月17日

- A. 授業形態 学年全体  
 B. 学習内容 ① アンケート (今年度のまとめ)  
 ② 個人レポートの製本

〈第19回〉 3月16日

- A. 授業形態 学年全体  
 B. 学習内容 東山植物園に出かけて、植物に触れ合う場を設けた。保護者1名の参加も得た。係員からの説明やボランティアの人達の解説をきく。

#### 4. 生徒の取り組み状況と変容

##### ① 小グループ (20人程) での意見発表

授業の形態として、提示されたテーマに対し、自分の意見をまとめ、グループ内で発表する (聞き手はメモをとる) ことを何度も試みた。次に掲げるのはある女子生徒 (Kさん) のグループ討論でのメモ用紙 (2回分から抜粋) である。1つ目は、5月2日に行われた憲法講演会の感想文をまとめたのち、意見発表を行ったものであり、1回目の討論形式の授業のものである。2つ目は、夏休みに自由研究レポートを課したものの個人発表会を9月中旬に行ったものであり、4回目の討論形式の授業にあたる。

##### ● [憲法講演会を終えて]

- A君……オウム心理教とジョン＝ロックがうったえたことのちがいに気づいた。
- Aさん…自分たちで世の中を動かして行かねばならないということは私も思った。
- Y君……憲法は全部いいのか。
- Oさん…戦時中と今のちがいは私も残念だと思う。

##### [夏休みの自由課題発表会]

- Mさん (犬について)  
 生の魚はたべない→においが臭いから骨がささったりする、からしなどは鼻にさわる。  
 犬の目  
 ごくわずかな光でもみることができる。100m以上はなれると見えない。  
 犬の3年→人の30才
- Yさん (犬の病気)  
 フィラリア  
 ミクロ—— (ここは聞きとれなかったらしい) が、カにすわれ、他の犬などにカがさすとそこでミクロ——がうつる。  
 今は92%うつる  
 フィラリアにかかると結果的に (死に至る (?))  
 1ヶ月に1回予防せしゅ  
 ネプトスピラ病 パラインフルエンザ  
 ねずみからうつる 空気内でうつる

- A君 (戦時下の子供たち)

ポツダム宣言について

受け入れなかったことについては私も不思議に思うけれど、当時は天皇を神としてあつかっていたため迷信にまどわされたたのではないかと思う。

2回とも、1人5～10分の持ち時間内での討論である。意見の質、質疑の活発さは、筆者が中1に期待した以上のものであった。さて、このメモを見てみると、明らかにこの女子生徒のメモ量が増えている。1回目では、少量で抽象的なメモしか取れていない。具体的な説明があったにも拘わらずである。それは2回目には、具体的な説明も速記でき、量もはるかに増えている。また、A君 (同一人物) の発表に対するメモを比べてみると、A君の意見に対し、自分の考えも明確に述べられている。さらに、このように聞き手がメモを取れるような発表ができるようになってきたという点も指摘できる。

発表の場で集中して理解するように「聞く」力、観察力、発表を聞き自分なりに考察する力が全体的に徐々に養われてきているのではないか。

##### ② 一学期の授業を終えて

##### ——アンケート調査より——

総論篇にもある通り、7月中旬に生徒の実態アンケートを行った。一学期の授業に関わる部分を見ると、60 (社会に役立つ仕事につきたい)、62 (他人のために働くことも大切だ)、63 (多少収入が少なくてもやりがいのある仕事がしたい) の3つの質問について、学年団の取り組みに対し良い結果が出ている。

また、他の設問では、66 (自分は他の多くの人たちによって支えられている)、67 (自分の幸せは他人のモノサシでは測れない) は、憲法講演会以降繰り返し授業で扱った事柄でもあり、高い値を示している。

これらの値は中2・中3を上回っている。人間関係が希薄で、人と深く交わることが少ない現在で、これらの質問の値の高いことは重要な意味がある。身近な人々と関わり合いながら生きていくのが人間である、ということ、授業内容や討論形態、野外での学習などで学ぶことの意味は大きい。これが、学校や地域での生活態度に反映されることが望ましい。現在のところ、目に見えた効果はまだ現れていないが、生徒がこういう意識を持ち続けることで、徐々に変化が現れるのではないかと期待している。

##### ③ 夏の自由研究

一人ひとりの興味関心を明確にし、自分で調査研究させることを目的とした。自主的に学ぶ姿勢を身につ

けてほしいということである。ここでは次のようなテーマがレポートとして出された。

### テーマ一覧

戦争について  
戦時下の子供達  
蟻  
日本の鉄道網  
釘穴について  
虹について  
現代から未来への地下鉄について  
コスタリカについて  
あれから50年（戦艦大和とのつながり）  
あり地獄を飼ってみて  
名古屋グランパスエイトについて  
歯医者  
鳴海・有松の歴史文化  
大塩平八郎について  
あり  
土星の輪が消える  
木曾川の魚  
真珠湾攻撃について  
医者・看護婦について  
風の名前  
吉川英治の一生  
ちびまる子ちゃん  
ペンキン  
沖縄戦について  
蟬について  
オオカミについて  
神主について  
人  
看護婦さんについて  
マナー  
ヘニサケ  
AUTHONY CARD について（彫刻家）  
動物について  
アイハンクについて  
ピーターラビットの絵本について  
イチロー  
原子力  
有袋類について  
（筋ジストロフィーについて）  
化登音頭  
フラックホールについて  
甲子園  
徳川吉宗  
アドルフヒトラーとユタヤ人迫害

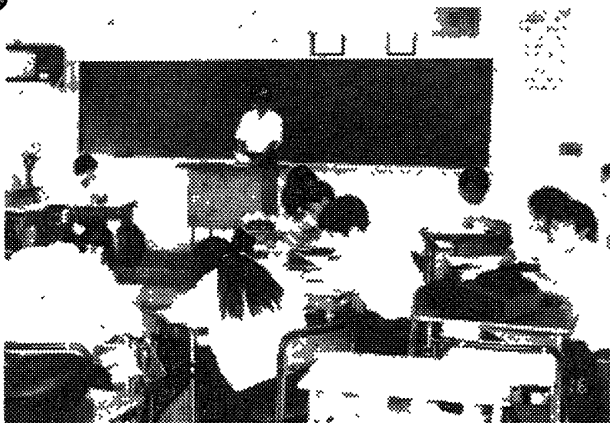
AIDS  
忍法  
医師・看護婦について  
仏教について  
木について  
リサイクルについて  
イエローマングースについて  
リサイクル  
日本棋院  
地震について  
画家 萩須高德  
星野富弘の世界  
坂本龍馬の一生  
ルイ・ブライユ 点字発明者  
日光東照宮の龍について  
学問のすすめ  
恐龍  
一乗谷朝倉氏の誕生から滅亡まで  
日本の民家について  
犬について  
作曲家の3人について  
メダカ  
ごみについて  
食物の花  
犬の正しいえらび方  
犬について  
わちふいどのダヤンを調べて  
漫画家について  
恐龍  
祖母の戦争体験について  
犬の病気

ここでは2人の特徴的な生徒を取り上げたい。

A君は、小学校時代は学校嫌いで休みがちであり、本校入学当初もあまり口を開かず自分の世界に閉じこもりがちで、極く少数の友人としか会話を交わさなかった。ところが、夏休み明けの自由研究の発表（20名1グループで輪になって実施）では、野球の好きな彼は、「審判になるには」や「硬式・軟式ホールの違い（構造や扱い方の物理的説明）」を発表し、分かり易い明確な説明（振付あり）で皆の賞賛を受けた。その頃から級友にも認められ、本人も自信を持ってきたようである。母親もその変わりように驚き喜んでいる。

B君は基礎学力が不足しほとんどの教科で成績が奮わない。自分のことが自分でできない。教師の指導にも反応が鈍く、提出物のなかなかでできない生徒である。クラスでも少し手のかかる子として考えられていて、研究発表かてきるかとうか不安視されていた。案

の定、レポート提出期限には遅れたが、約1週間後、発表資料を持ってきて、教員の指導後発表を行った。発表には具体性があり、聞いている生徒たちは、普段の様子からは意外な、筋道の通った発表に感心した。B君も、自分の興味あることを追求できる力があることを皆に認めてもらった。



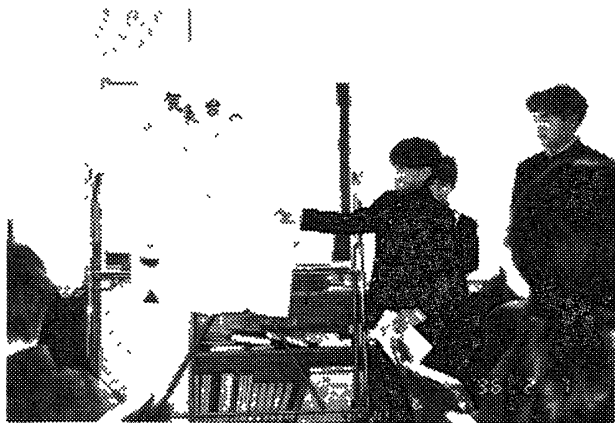
(夏の自由研究 発表風景)

#### ④ 野外学習

Cさんは、普段は活発であるが、授業中は、発言の機会を与えてもなかなか発言がなく消極的であった。

総合人間科の授業でグループの話し合いが盛んに行われるようになるにつれ、グループの話し合い活動の中心となってとりしきり、普段の生活での元気が授業中でもみられるようになった。実に生き生きした授業中での様子である。

野外学習の準備を通して、このCさんのような生徒が現われてきて、生徒達が自発的に小グループでの話し合いができるようになったのは大きな成果である。野外学習の目的・行先・質問事項・役割分担などを5～6人のグループで話し合わせたが、予想外にスムーズにいったグループが多かった。



(野外学習発表会風景)

(生徒の感想)

- ・ 僕はこの野外学習はあまり行きたくなかった。それは記録係というたいへんでたいくつな係になってしまったから、そして何だかたたくるしい所へ行ってカタブツの人たちのたいくつな話を聞いてこないといけないと思ったからだと思う。

(中略)

見学が終わると、てきとうに書いておこうと思っていた僕のメモ帳は午前中だけで、1/4ほど使い、自分でも驚いてしまった。

それだけ書くと、いつもの僕ならクタクナになるはずなのに、なぜかいきいきとしていた。

- ・ この野外学習を終えて、感想を一言で言うと「私の将来の夢が決まった」です。それは、盲導犬の所へ行って、そこで働いている人の意気込みとか、働いている姿を見て、すごくいいなあと思ったからです。
- ・ 午後は名大分院に行きました。施設案内してくれた方達はすごく親切でうれしかったです。私が一番感激したのは、CT撮影室に行った時でした。CTの機械の中を見してくれました。ふつう中がどうなっているかはなかなか見られないのですごくうれしかったです。
- ・ 質問させてもらえるときは、私たちの質問のきき方が悪くて答えにくいようだったのでもっとわかりやすいようなきき方を考えなくてはと思いました。だけど、どれにも1つ1ついいに答えてくれたのでうれしかったです。

野外学習は、概ねどの生徒にも好評であった。対応して下さった方々の真摯な態度に触れ、「出会いから学ぼう」という学年テーマは、かなり達成されたと思われる。また、①、②で培われてきた力が実際にどれだけ現場で通用するかを試す機会にもなった。

この野外学習の成果を整理し、他のグループの成果も知るために、研究集録の作成と口頭での発表会を行った。これはより深く考察する力を付けてもらいたいという願いからである。発表会は、80人を前にして行う初めての経験なので、それなりに頑張っていたがまだまだ改善の余地は多い。

#### 5. 生徒の感想及び今後の課題

○アンケート調査によれば、一年生にとっては、総合人間科の授業は楽しくも嫌でもなくごく普通のものであったようだ。楽しかったこととしては「好きなことができた」ことであり、苦痛だったことは「レポート書きが多かった」事である。一番印象に残っているのは、野外学習に出かけたこととそこでいろいろな働く人々に出会えたことである。そのためか日本の大人に

に対する印象としてまったく信頼できないとするものの割合が入学当初の4月に比べて大幅に減少している。

○指導上に現れる対立する諸側面

出会いとしては、直接体験と間接体験がある。中学1年生という年齢的条件を考慮にいれば、直接体験の機会を多くしたい。しかし、授業時間を巡る他の教科とのバランス、スタッフの能力等を考慮に入れると、通常の授業時間ではどうしても間接体験を主体とせざるをえない。夏休み等長期休暇や従来から行われてきた学年行事の「オリエンテーション合宿」「野外学習」で直接体験の機会を期待した。特に野外学習ではそこで働く人や体験者の話を直接聞く事に力を入れた。しかし野外学習の後でも、もっと調べたいと言う希望が生徒にあり、ある生徒は自分で個人的に出かけている。この様な積極的な要求にまた応えきれない。出合いを求めよと言っておきながら学校側としては年に三回しか野外に連れ出していない。出合いの直接体験的側面がやや弱いのである。

次に、興味関心の拡大と深化の問題がある。1年生では拡大に力点を置くことにしたが、これもスタッフの能力不足で十分なひろさを持たせる指導が出来なかった。夏休みの宿題として出した自由研究は、保護者の協力が得られた生徒は貴重な体験をまとめることが出来たが自力に任された生徒は辛い思いをしたにちがいない。

さらに、学習形態の問題がある。個人とグループと学級と学年という各レベルの指導の在り方をどうするか。限られた条件下では個人の興味関心を生かしたグループ指導のあり方を探るしかない。野外学習ではクラスメイトの調べたことを引き継いだり、クラスメイトの興味関心にも応える調査研究をするように指導した。また、研究集録の執筆では、個人の研究報告をまず作りそのまとめとしてのグループ研究報告集を作らせた。グループは学年を代表して調査研究する面を持たせることとした。これらを学習集団としてのクラス作りの原点たらしめるには、グループ内やグループ間の討論が有効に行われる必要がある。時間の関係でこれが不十分であった。

○教育条件の制約

いろいろな人数での発表や討論に対応した教室の不足。多様な発表形態を保障する各種の視聴覚機材の不足等が、総合人間科を物理的に保障する上での制約になっている。

○評価方法の確立

担任団で、評価の原点を再確認。評価とは、生徒にとっては何処まで出来たかを知るものであり、教師にとっては授業がうまく出来たかを反省する為のものであると。

現在上がっている案は、評価の柱として、出会いから学んだ事のまとめのしかた、興味関心の広がりや深まり、グループ学習への積極性等を立てる。これらの観点で、個人的に進歩したか、他の生徒と比較して何処が良いかなど、生徒ひとり一人について良い点を見つける。その結果を数値化しないで記述式で評定し生徒に知らせると言うものである。全体としては生徒の興味関心をてこに授業を展開することが出来た。このような評価方法をとれば、今後は個々の生徒への細かい目配りを多くする事が出来、この授業が生徒一人ひとりにとってどうであったかを知る資料となる。しかし教師の労力が大変である。そのため、教師1人に付き生徒20人の割合で受け持って評価した。通知表に記載する評定はA,B,Cを用い、記述式の評価は、野外学習のレポート等提出物に記載した。総合的評価をどのような評定として生徒に知らせるか、更なる研究が必要である。

○その他の課題

スタッフの力や数の不足をどう補うか。その方法として、学部の力を借りたり、保護者の協力を得るなど考えられるが中1に関してはその足掛りも出ていない。

発表と討論の訓練をもっと意識的にする。発表と討論の司会の機会を多くの生徒に体験する事が課題である。これらは一般の教科指導でも追求すべきであろう。

資料

学校生活や総合人間科などに関するアンケート結果

実施日	95.4	96.2
対象 中学一年	79名	80名
但し*印は96.2.のみの調査		
1 学校生活は楽しいですか		
1 非常に楽しい	38%	21%
2 楽しい	41	36
3 普通	20	35
4 苦痛	1	5
5 非常に苦痛	0	1
2 家庭での生活は楽しいですか		
1 非常に楽しい	29%	15%
2 楽しい	43	40
3 普通	28	43
4 苦痛	0	1
5 非常に苦痛	0	0
3 死にたいと思ったことがありますか		
1 ある	27%	40%
2 ない	73	59
4 日本の社会について		



- |        |   |     |           |                  |    |  |                        |         |
|--------|---|-----|-----------|------------------|----|--|------------------------|---------|
| 1      | とても良い   | 1%  | 0%        | 生き方              | 5  | 自分の計画や将来の決め方   | 2                      |         |
| 2      | 良い  | 9   | 1         | 障害者              |    |  |                        |         |
| 3      | 普通  | 42  | 39        | 11 *             |    | この一年で出会った人や物の内で一番印象に残っているものを挙げて下さい   |                        |         |
| 4      | 暗い  | 28  | 25        |                  |    | (大部分が野外学習での訪問先の人々を挙げる)   |                        |         |
| 5      | とても暗い   | 8   | 15        | 犬・盲導犬            | 9人 | 無し   | 6                      |         |
| 6      | 分からない   | 13  | 19        | 小島さん(熱田空襲を記録する会) | 6  | 学芸員  | 3                      |         |
| 5      | この学校に入学したことについて、その印象は                         |     |           | 友人               | 5  | 水族館員   | 3                      |         |
| 1      | 入ってとても良かった                                    | 37% | 16%       | 竹田さん(有松絞り)       | 3  | 盲導犬訓練員   | 4                      |         |
| 2      | 入って良かった                                       | 46  | 36        | 木を植えた男           | 2  | 看護婦  | 2                      |         |
| 3      | 分からない   | 18  | 34        | 12               |    | 読書は好きですか   |                        |         |
| 4      | 入った事を後悔している                                   | 0   | 3         | 1                |    | 好きだ  | 41% 31%                |         |
| 5      | 出来ることなら転校したい                                  | 0   | 0         | 2                |    | どちらかといえば好きだ  | 15 23                  |         |
| 6 *    | 総合人間科の授業は                                     |     |           | 3                |    | どちらでもない  | 34 25                  |         |
| 1      | 非常に楽しい  |     | 4%        | 4                |    | どちらかといえば嫌いだ  | 10 19                  |         |
| 2      | 楽しい   |     | 18        | 5                |    | まったく嫌いだ  | 0 1                    |         |
| 3      | 普通  |     | 71        |                  |    | 1、2を答えた人に  |                        |         |
| 4      | 苦痛  |     | 5         |                  |    | 1995年4月  |                        |         |
| 5      | 非常に苦痛   |     | 1         |                  |    | 最近読んだ本の名前を書いて下さい   |                        |         |
| 7 *    | 上で1、2や4、5と答えた人にその理由を書いて下さい                    |     |           |                  |    | モモ、シートン動物記、空飛ぶ教室、東海道中膝栗毛、少年の海、時の輝き、ゴーストは夜歩く、兎の目、等  |                        |         |
| 1、2の理由 |   |     |           |                  |    | 推理小説、ぼくらシリーズ   |                        |         |
|        | 普通の授業と違う、個人で出来ないことができる、色々学べる、今まで学べなかったことが学べる、 |     |           |                  |    | 1996年2月  |                        |         |
| 8      | 自分で全部計画が立てられる、好きなことが出来る                       |     |           |                  |    | 最近読んだ本の名前を書いて下さい(文学書が殆ど)   |                        |         |
|        | 自由  |     |           |                  |    | 赤毛のアン 2、二人のロッテ 2、大往生、快盗ルパン、大地の子、秀吉、人間失格、車輪の下に、ロビンソン漂流記、不思議の国のアリス、オウム的、僕らのコブラ記念日 2、三四郎、シートン動物記、そばときしめん、岩窟王、絶滅動物の予言、新平家物語、三国志、ドクトルまんぼー漂流記、モモ、花嫁は16歳、僕が医者になった理由、……) |                        |         |
|        | 人とのふれ合いが多い                                    |     |           |                  |    | 13   |                        |         |
| 4、5の理由 |   |     |           |                  |    | 人類の未来について  |                        |         |
|        | 土曜がいや、レポートが多い、嫌いな人と同じグループ                     |     |           |                  |    | 1  | 永遠に繁栄するだろう             | 5% 3%   |
| 8 *    | 総合人間科の授業で一番良かったことは                            |     |           |                  |    | 2  | 数百年間は繁栄するだろう           | 28 11   |
| 1      | 一学期の各先生の授業                                    | 14% |           |                  |    | 3  | わからない                  | 23 29   |
| 2      | 夏休みの自由研究                                      | 13  |           |                  |    | 4  | 自分が生きているうちは大丈夫だろう      | 27 23   |
| 3      | 夏休みの自由研究発表会                                   | 6   |           |                  |    | 5  | もうすぐ衰えはじめるだろう          | 16 33   |
| 4      | 野外学習の事前学習                                     | 4   |           |                  |    | 14   | 悩みごとを相談できるような友人がいますか   |         |
| 5      | 野外学習当日の各所への訪問                                 | 66  |           |                  |    | 1  | いる                     | 81% 81% |
| 6      | 野外学習の事後学習(発表会を含む)                             | 8   |           |                  |    | 2  | いない                    | 18 14   |
| 9 *    | 君は総合学習の授業を通じて何と出会いましたか(いくつか書いて下さい)            |     |           |                  |    | 15   | 今の生活で何か打ち込めるものを持っていますか |         |
|        | (大部分が野外学習での訪問先の人々を挙げる)                        |     |           |                  |    | 1  | 持っている                  | 46% 33% |
|        | 働くひと 16人 犬 8                                  |     |           |                  |    | 2  | まあまあ持っているといえる          | 32 28   |
| 7      | 様々な生き方  | 5   | 戦争のつらさ悲しさ | 4                |    | 3  | わからない                  | 18 18   |
|        | 人 8 自分 1                                      |     |           |                  |    | 4  | どちらかと言えば持っていない         | 1 6     |
| 10 *   | 来年度2年生での総合学習ではどんな事を学びたいと思いますか                 |     |           |                  |    | 5  | なにもない                  | 3 4     |
|        | 分からない・なし                                      | 5人  | 自然や環境     | 4                |    |  |                        |         |
|        | 社会のこと   | 7   | 野外学習      | 3                |    |  |                        |         |

中学1年 「生き方を探る——人と地域から、自己発見の機会」

16 君の最も尊敬する人は？ またその理由は？			べきだ		
1 父親	27%	23%	3 科学を進歩させて防ぐ	46	31
2 母親	25	28	4 地球は汚染されていないから そんなに騒がなくてよい	1	0
3 その他（友人、兄弟、祖父、 豊臣秀吉等）	28	29	5 わからない	6	9
4 いない	23	18	24 これから長く日本の平和が続くと思いますか		
理由（一生懸命働いている人 ）			1 永遠に続く	4%	3%
17 君の最も親しい人は			2 しはらく続く	43	26
1 友人	61%	73%	3 分からない	11	24
2 父親	3	11	4 あまり続かない	25	28
3 母親	19	20	5 いま平和とはいえない	16	20
4 兄弟	9	16	25 自分は協力性があると思いますか		
5 その他（ ）	9	6	1 大いにある	6%	1%
6 なし	3	3	2 まあまああるほうだ	39	21
18 君の将来の見通しは			3 わからない	41	44
1 明るい希望を持っている	33%	9%	4 とちらかと言えは無い	11	20
2 まあまあ希望が持てる	42	31	5 まったくない	3	5
3 わからない	23	38	26 グループで何かをすることが好きですか		
4 あまり希望が持てない	3	19	1 大いに好き	24%	15%
5 まったく希望が持てない	0	13	2 まあまあ好きな方だ	53	45
19 日本の大人全体について			3 わからない	10	20
1 とても信頼できる	0%	1%	4 とちらかと言えは嫌い	9	16
2 まあまあ信頼できる	15	8	5 まったく嫌い	3	4
3 わからない	29	21	27 自分からクラスメートに話しかけることが出来ま すか		
4 あまり信頼できない	48	56	1 大いにできる	53%	43%
5 まったく信頼できない	32	8	2 まあまあ出来そうだ	35	51
20 学校の教師について			3 わからない	8	6
1 とても信頼できる	28%	6%	28 将来どんな職業に就きたいと思っていますか、下 に書いて下さい		
2 まあまあ信頼できる	48	39	1995年4月		
3 わからない	16	33	医者 8人 デザイナー 3		
4 あまり信頼できない	5	18	スポーツ選手 4 漫画家 2		
5 まったく信頼できない	0	6	まだ考えていない 11 イラストレーター 2		
21 君の勉強に対する自己評価は			教師 4 保母 2		
1 好きな方で良くする	8%	8%	幼稚園の先生 2 看護婦 2		
2 好きではないがそんなに苦痛 なくできる	70	43	獣医等動物関係 4 タレント 2		
3 嫌いたがいやでもする	20	28	小説家 3		
4 嫌いで、強制されないとできない	1	21	汗を流して働く職、やりがいのある職、地球環境を守る 仕事		
5 嫌いで、まったくしない	1	4	1996年2月		
22 自分の性格についての自己評価は			わからない 6 無し 5 医者 5 小説家 2		
1 とても良い	3%	1%	OL 2 高給取り スポーツ選手 3 学者 2		
2 まあまあよい	35	6	地球環境を守る人、先生 3 犬関係 3 ピアニス ト 3 努力事きる仕事、看護婦、通訳、		
3 普通	38	40	29 今一番欲しいものは何ですか		
4 あまり良くない	16	33	1995年4月		
5 いやな性格だ	8	18	お金 8人 友人 4 自分の部屋 4 自由な時間		
23 地球汚染を防ぐことについて					
1 成りゆきにまかせるしかない	13%	26%			
2 不自由な生活に戻っても防ぐ	46	38			

9 無し 12 かばん 3 パソコン 4 本 6  
ファミコンソフト 2 バasketボール 2  
頭の良くなる本、Basketのコート、彼女、オウム  
を壊滅する手段と世界の平和、両親の会社の休み  
1996年2月

● 時間 8 体力・運動能力 5 無し 3 自分の部屋 2 頭脳、お金 31 友人 3 人望、家、いつでも落ち着ける心、いつも楽しめるもの 日本刀、パソコン、テストの点

30 いま、一番大切にしたいものは何ですか

1995年4月

友人 22人 なし 3  
命 8 犬などペット 2  
夢 2 両親 2  
家族 17 小学校時代の物 2  
健康 2 地球・自然 4

1996年2月

友人 21 家族 17 命 9 お金、母親、人間関係、自分の意志や気持ち、犬、ガス銃、グローブ

31 君の将来の夢を書いて下さい

1995年4月

汗を流して頑張る人 2人 幼稚園の先生になる 2  
平和な一生 2 結婚したい 3  
● 小説家 3 動物保護をする人 2  
大きな家を持つ 2 看護婦 2  
いぬ・ねこを飼う 2 漫画家 3  
スポーツ選手になる 6 医者 4  
デザイナーになる 3 学者 4

みんなからいい人ねと言われる人になりたい、みんなから尊敬される人、母を楽にしてやりたい、名大の経済学部を出て、国家公務員になってなんでも話せる人と結婚して一生楽しく過ごしたい。

1996年2月

無し 4 趣味を持つ時間のある人、大学に入り卒業して結婚する 幸せになりたい 3 東京で一人暮らし、結婚して家を立て子供は三人まんが家になるそして90歳まで生きる、物語を沢山書き本を沢山読んで楽しく生きる、お金持ち 3 健康で平和な暮らし、世界一周、心豊かな人間、父親になったら子供に嫌われなく優しい父親になる、夢を持っても実現しないのであまりそういう事は考えたくない、地球の環境を守る仕事、希望した仕事について有名になり安らかに死ぬ、● ゲーム製作所にはいる、サラリーマンだけにはなりたくない、尊敬される人、医者になる、卓球で世界一になる、心のきれいな良い人になる、儲けて庭付きのリッチな一戸建てを買って子孫繁栄を図り子孫に自分をあがめさせる、

32 \* 総合人間科に真剣に取り組みましたか

1 とても良く取り組めた 8%  
2 まあまあだ 39  
3 普通 39  
4 あまり良くない 11  
5 全く取り組めなかった 0  
33 \* 他の授業と比べて、総合人間科の授業の方が

1 好きだ 11%  
2 どちらかといえば好きだ 21  
3 どちらでもない 55  
4 どちらかといえば嫌いだ 8  
5 まったく嫌いだ 3

1、2や4、5と答えた人は、その理由を書いて下さい

1、2に対して

自分の好きなことを考えたり学んだり出来る 6人

面白い・楽しい 6

普通の授業では学べないことが出来る 5

外に出かけられる

ビデオ等が面白い

自分の意見が言える

生き方を考えるのがよい

他の授業は授けられるけど総合人間科は自分達で行う

ので日頃気にしない事でも色々分かってくる

暗記ではなく自分で考える

4、5に対して

普通の授業がよい

楽しくない 3

やる事が決まっているほうがよい

レポートがいや

考えるのが苦手

34 \* 野外学習の感想は

1 非常に楽しかった 26%  
2 どちらかといえば楽しかった 33  
3 どちらでもない 36  
4 どちらかといえば苦痛だった 11  
5 非常に苦痛だった 0

1、2や4、5と答えた人に、その理由を書いて下さい

1、2に対して

調べることが楽しい 5人 いろいろなところへ行けた

5 出かけることが好き 5 調べることが楽しい

9 いろいろな人に会えた 2 グループで出来た、今まで知らなかった職業がわかった

4、5に対して

楽しいけど面倒、

35 \* 今後どんな所を訪問したいですか。訪問先を書いて下さい

● 各種の工場 7人 もんじゅ、沖縄米軍基地、無し

5 国会 2 ジャニーズ事務所 3 各種官庁 5  
杉本美術館、遊園地 2 人生相談所、動物園、作家  
研究所 3 大学 2 山奥に住んでいるひと、漫画  
家 2 ゲーム会社 3 天皇家、リトルワールド  
恐竜の骨などの発掘現場 インド、タンザニア  
36 \* あと、5年間の学校生活での目標があったら書  
いて下さい。

部活動をしっかりする	10人
勉強する	13
有名大学にはいれるように	5
なし	5
友達と仲よく	3
性格を良くする	2
おちこぼれず自分の趣味をみがいてその趣味を職業に 出来るようにがんばる	
平和な毎日をおくりたい	
もっともっと知識を広める	
楽しく生きる	2
良く学び良く遊ぶ	2
誰とでも話せるようになる	
健康に過ごす	
ダイエットする	